

千葉県教員採用試験

令和7年度(2024年実施)

教職教養

1 次の文は、「小学校学習指導要領」の「前文」の一部である。文中の(a)～(e)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 1

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童が、自分の(a)を認識するとともに、あらゆる他者を(b)のある存在として尊重し、多様な人々と(c)しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、(d)な社会の(e)となることができるようにすることが求められる。

- | | | | | |
|------------|----------|------|-----------|-------|
| ① a 個性 | b よさや可能性 | c 協働 | d 持続可能 | e 生活者 |
| ② a よさや可能性 | b 価値 | c 対話 | d 持続可能 | e 形成者 |
| ③ a よさや可能性 | b 個性 | c 対話 | d 民主的・平和的 | e 創り手 |
| ④ a 個性 | b よさや可能性 | c 協働 | d 民主的・平和的 | e 形成者 |
| ⑤ a よさや可能性 | b 価値 | c 協働 | d 持続可能 | e 創り手 |

2 「小学校学習指導要領」の「第1章 総則 第2 教育課程の編成 (2) 授業時数等の取扱い」に関する内容として、適当でないものを選びなさい。

解答番号は 2

- ① 各教科等のそれぞれの授業の1単位時間は、各学校において、各教科等の年間授業時数を確保しつつ、児童の発達の段階及び各教科等や学習活動の特質を考慮して適切に定めること。
- ② 各教科等の授業時数は、年間35週(第1学年については34週)以内で計画し、週当たりの授業時数が児童の負担過重にならないようにするものとする。
- ③ 各教科等の特質に応じ、10分から15分程度の短い時間を活用して特定の教科等の指導を行う場合において、教師が、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した中で、その指導内容の決定や指導の成果の把握と活用等を責任をもって行う体制が整備されているときは、その時間を当該教科等の年間授業時数に含めることができること。
- ④ 給食、休憩などの時間については、各学校において工夫を加え、適切に定めること。
- ⑤ 総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。

3 次の文は、「中学校学習指導要領」の「第4章 総合的な学習の時間 第2 各学校において定める目標及び内容」の一部である。文中の(a)～(d)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 3

- (1) 各学校において定める目標については、各学校における(a)を踏まえ、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと。
- (2) 各学校において定める目標及び内容については、他教科等の目標及び内容との(b)に留意しつつ、他教科等で育成を目指す資質・能力との(c)を重視すること。
- (3) 各学校において定める目標及び内容については、(d)や社会との関わりを重視すること。
- (4) 各学校において定める内容については、目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を示すこと。

- ① a 教育目標 b 違い c 関連 d 地域の実態
- ② a 生徒の実態 b 違い c 関連 d 教育目標
- ③ a 教育目標 b 違い c 関連 d 日常生活
- ④ a 生徒の実態 b 関連 c 違い d 日常生活
- ⑤ a 教育目標 b 関連 c 違い d 地域の実態

4 「高等学校学習指導要領」の「第1章 総則 第2款 教育課程の編成 4 学校段階等間の接続」に関する内容として、適当でないものを選びなさい。

解答番号は 4

- ① 現行の中学校学習指導要領を踏まえ、中学校教育までの学習の成果が高等学校教育に円滑に接続され、高等学校教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力を、生徒が確実に身に付けることができるよう工夫すること。
- ② 各教科・科目の指導に当たり、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るための学習機会を設けること。
- ③ 中等教育段階での学習内容の確実な定着を図りながら、必修教科・科目の内容を十分に習得させることができるよう、その単位数を標準単位数の標準の限度を超えて増加して配当すること。
- ④ 義務教育段階での学習内容の確実な定着を図ることを目標とした学校設定科目等を履修させた後に、必修教科・科目を履修させるようにすること。
- ⑤ 大学や専門学校等における教育や社会的・職業的自立、生涯にわたる学習のために、高等学校卒業以降の教育や職業との円滑な接続が図られるよう、関連する教育機関や企業等との連携により、卒業後の進路に求められる資質・能力を着実に育成することができるよう工夫すること。

5 次の文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」の「第6章 特別活動」の一部である。文中の(a)～(d)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 5

- 1 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、(a)からくる種々の制約を解消し、活発な(b)が行われるようにする必要があること。
- 2 児童又は生徒の経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、(b)を通して小学校の児童又は中学校の生徒などと交流及び(c)を行ったり、(d)などと活動を共にしたりする機会を積極的に設ける必要があること。

- | | | | | |
|---|--------|---------------|--------|---------|
| ① | a 少人数 | b 集団活動 | c 共同学習 | d 地域の人々 |
| ② | a 個別指導 | b 集団活動 | c 通級 | d 地域の人々 |
| ③ | a 個別指導 | b 学校行事やクラブ活動等 | c 通級 | d 保護者 |
| ④ | a 少人数 | b 集団活動 | c 通級 | d 保護者 |
| ⑤ | a 少人数 | b 学校行事やクラブ活動等 | c 共同学習 | d 地域の人々 |

6 次の条文は、「日本国憲法」の一部である。条文の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 6

第26条 すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。
すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に(a)を受けさせる義務を負ふ。
(b)は、これを無償とする。

第27条 (略)

児童は、これを(c)してはならない。

- | | | | |
|---|--------|--------|------|
| ① | a 学校教育 | b 普通教育 | c 酷使 |
| ② | a 学校教育 | b 普通教育 | c 雇用 |
| ③ | a 普通教育 | b 義務教育 | c 雇用 |
| ④ | a 普通教育 | b 義務教育 | c 酷使 |
| ⑤ | a 学校教育 | b 義務教育 | c 雇用 |

7 次の条文は、「教育基本法」の一部である。条文の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 7

第16条 教育は、不当な(a)に服することなく、この法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきものであり、教育行政は、国と地方公共団体との適切な(b)及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならない。

国は、全国的な教育の(c)と教育水準の維持向上を図るため、教育に関する施策を総合的に策定し、実施しなければならない。

- ① a 支配 b 役割分担 c 機会均等
- ② a 勢力 b 指導・助言 c 条件整備
- ③ a 支配 b 役割分担 c 条件整備
- ④ a 勢力 b 役割分担 c 機会均等
- ⑤ a 支配 b 指導・助言 c 条件整備

8 「学校教育法」の第一条で定められている学校に含まれないものを選びなさい。

解答番号は 8

- ① 幼稚園
- ② 義務教育学校
- ③ 中等教育学校
- ④ 高等専門学校
- ⑤ 大学校

9 次の条文は、「教育公務員特例法」で定められている教員の研修に関する条文の一部である。条文の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。 解答番号は 9

第23条 公立の小学校等の教諭等の研修実施者は、当該教諭等に対して、その採用の日から一年間の教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項に関する(a)な研修を実施しなければならない。

第24条 公立の小学校等の教諭等の研修実施者は、当該教諭等に対して、個々の能力、適性等に応じて、公立の小学校等における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される(b)等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために必要な事項に関する研修を実施しなければならない。

第25条 公立の小学校等の教諭等の任命権者は、児童、生徒又は幼児に対する指導が不適切であると認定した教諭等に対して、その能力、適性等に応じて、当該指導の(c)を図るために必要な事項に関する研修を実施しなければならない。

- ① a 総合的 b 中堅教諭 c 改善
- ② a 実践的 b 主幹教諭 c 向上
- ③ a 実践的 b 中堅教諭 c 改善
- ④ a 実践的 b 中堅教員 c モデル化
- ⑤ a 総合的 b 主幹教諭 c モデル化

10 次の文は、「学校保健安全法」の一部である。その内容として、適当ではないものを選びなさい。

解答番号は 10

- ① 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。
- ② 校長は、当該学校の施設又は設備について、児童生徒等の安全の確保を図る上で支障となる事項があると認められた場合には、遅滞なく、その改善を図るために必要な措置を講じ、又は当該措置を講ずることができないときは、当該学校の設置者に対し、その旨を申し出るものとする。
- ③ 設置者においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、各学校の実情に応じて、危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領を作成するものとする。
- ④ 校長は、危険等発生時対処要領の職員に対する周知、訓練の実施その他の危険等発生時において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。
- ⑤ 学校においては、事故等により児童生徒等に危害が生じた場合において、当該児童生徒等及び当該事故等により心理的外傷その他の心身の健康に対する影響を受けた児童生徒等その他の関係者の心身の健康を回復させるため、これらの者に対して必要な支援を行うものとする。

11 次の文は、「第3期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」(令和2年2月 千葉県/千葉県教育委員会)の「第2章 千葉県教育の目指す姿」で、「千葉県教育をめぐる現状と課題」として示されていないものを選びなさい。

解答番号は 11

- ① AIなど技術革新の進展やSociety 5.0への対応
- ② 自己肯定感、自尊感情の向上
- ③ 誰一人取り残さない教育の実現
- ④ 人口増加・少子高齢化の進行や経済的格差への対応
- ⑤ コミュニティ・スクール導入など地域コミュニティの充実

12 次の文章は、「第3期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」(令和2年2月千葉県/千葉県教育委員会)の「第3章 2 基本目標1 施策2 道徳性を高める心の教育の推進」の「取組の基本方向」である。文中の(a)～(d)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 12

- ・ 子供たちが自己を見つめ、物事を広い視野から(a)に考え、人間としての在り方や生き方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を養う道徳教育を推進します。
- ・ いじめの早期発見、早期対応のための組織的な対応、(b)体制の充実、外部機関との連携強化に向けた取組を推進します。
- ・ 子供たちに生活体験や自然体験などの体験活動の機会を多く提供し、学校教育、家庭教育、地域社会での活動の充実を図るとともに、多様な文化への理解や(c)の涵養等を図る取組、自他を尊重する(d)を推進します。

- ① a 多面的・多角的 b 生徒指導 c ボランティア精神 d 人権意識の啓発
 ② a 主体的・論理的 b 教育相談 c インクルーシブマインド d 共生社会の実現
 ③ a 多面的・多角的 b 教育相談 c インクルーシブマインド d 人権意識の啓発
 ④ a 多面的・多角的 b 教育相談 c ボランティア精神 d 人権意識の啓発
 ⑤ a 主体的・論理的 b 生徒指導 c インクルーシブマインド d 共生社会の実現

13 次の文章は、「第3期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」(令和2年2月千葉県/千葉県教育委員会)の「第3章 2 基本目標2 施策7 多様なニーズに対応した教育の推進」の「取組の基本方向」の一部である。文中の(a)～(d)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

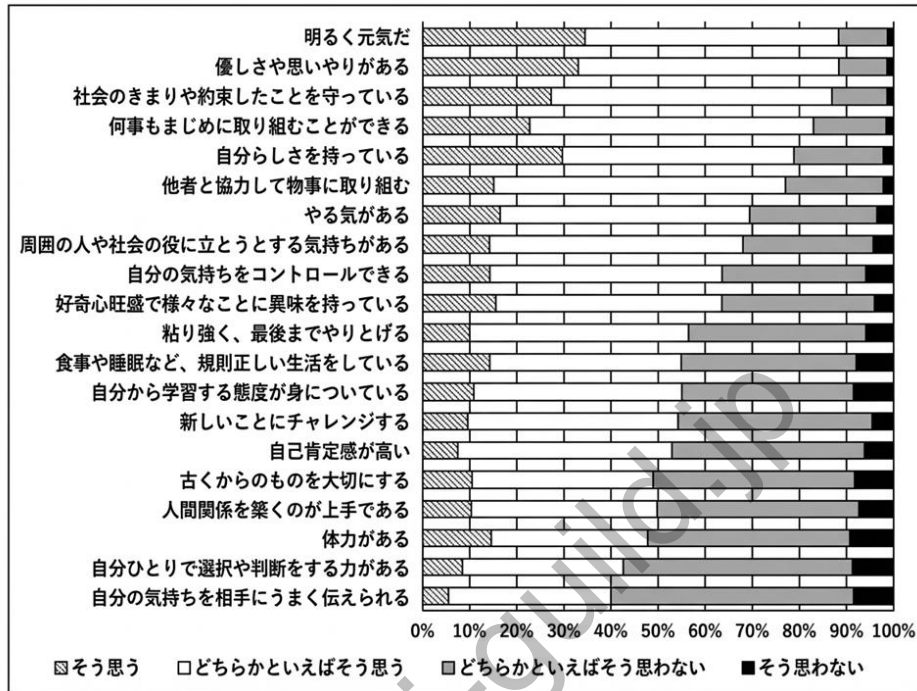
解答番号は 13

- ・ 児童生徒や家庭に対する相談支援体制の整備や教員研修の充実、(a)等の人材の配置などにより、不登校児童生徒への支援を進めます。
- ・ 学習支援や学び直しの機会の提供など、学びへの機会確保を図るとともに、(b)に向けた支援を行います。
- ・ 経済的・家庭的な理由により、(c)が困難な児童生徒に対する支援の充実を図ります。
- ・ 外国人児童生徒等の、(d)が必要な児童生徒に対する受入体制の充実を図ります。

- ① a スクールカウンセラー b 職業的自立 c 就学 d 日本語指導
 ② a スクールカウンセラー b 社会的自立 c 進学 d 生活指導
 ③ a スクールソーシャルワーカー b 職業的自立 c 進学 d 日本語指導
 ④ a スクールソーシャルワーカー b 社会的自立 c 進学 d 生活指導
 ⑤ a スクールカウンセラー b 社会的自立 c 就学 d 日本語指導

14 「第3次千葉市学校教育推進計画」(令和5年3月 千葉市/千葉市教育委員会)では、策定にあたり、学校教育に関する基本的なニーズを把握するため、保護者及び教職員に対して意識調査を行った。次のグラフは、「最近の子どもの印象」についての回答結果である。グラフから考察されることとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 14



- ① 元気で優しく、決まりを守りまじめであるという子ども像。また、一人で判断することができ、積極的に他者と関わっていくという印象が強い。
- ② 元気で優しいものの、決まりを守ることやまじめに取り組むことに意欲が低いという子ども像。また、一人で判断することや他者と関わるのが苦手であるという印象が強い。
- ③ 元気で優しく、決まりを守りまじめであるという子ども像。他方、一人で判断することや他者と関わるのが苦手であるという印象が強い。
- ④ 元気で優しいものの、決まることやまじめに取り組むことに意欲が低いという子ども像。他方、一人で判断することができ、積極的に他者と関わっていくという印象が強い。
- ⑤ 元気に欠けるものの、優しく、決まりを守りまじめであるという子ども像。また、一人で判断できるものの他者と関わるのが苦手であるという印象が強い。

15 次の文章は、「千葉県・千葉市教員等育成指標（令和5年度改訂）」（千葉県教育委員会）の「教員が身に付けるべき資質能力の6つの柱」の「ICTや情報・教育 データの利活用等とは？」に関するものである。文中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 15

ICTはこれからの学校教育を支える基本的な（a）として必要不可欠なことを理解し、授業や校務、教育相談、（b）、特別支援教育等、様々な場面でICTの利活用に努める必要があります。また、自身の情報活用能力、（c）の向上を図ることが求められます。

- | | | | |
|---|--------|--------------|------------|
| ① | a ツール | b 保護者への連絡等 | c 情報モラル |
| ② | a メディア | b 保護者への連絡等 | c データリテラシー |
| ③ | a ツール | b いじめ・不登校の対応 | c 情報モラル |
| ④ | a メディア | b いじめ・不登校の対応 | c 情報モラル |
| ⑤ | a ツール | b いじめ・不登校の対応 | c データリテラシー |

kyosai-guild.jp

16 「教育振興基本計画」(令和5年6月16日 閣議決定)では、この計画に関して「5つの基本的な方針」が示されています。その内容として、適当でないものを選びなさい。

解答番号は 16

- ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ② 全ての人の可能性が引き出され、多様な人々が参画するインクルーシブ社会の実現に向けた教育の推進
- ③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④ 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

17 次の文章は、「教育振興基本計画」(令和5年6月16日 閣議決定)の「マルチステージの人生を生涯にわたって学び続ける学習者の育成」に関する内容である。文中の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 17

人生100年時代は、同一年齢での単線的な学びや進路選択を前提とした人生のモデルから、一人一人の学ぶ時期や進路が複線化する人生のマルチステージモデルへと転換することが予測されている。こうした社会の構造的な変化に対応するため、学校教育における学びの多様化とともに、社会人の学び直し((a))をはじめとする生涯学習の必要性が高まっている。

職業に直結した学びのほかにも、(b)の変化に応じて生じる様々な悩みの中で、「人生を豊かにするための学び」や「他者との学びあい」を身近なものとするのが重要である。また、高齢者を年齢によって画一的に捉えることなく、第二の人生を生きる個人の意欲や能力を生かすエイジフリーな社会に対応した学習機会の確保も重要であり、国や地方公共団体等は個人が生涯にわたって学習する機会を得られるよう条件を整備する必要がある。

生涯学習社会を実現するためには、まず、生涯にわたって学び続ける学習者としての基礎を(c)等において培うことが重要である。

- ① a リカレント教育 b ライフステージ c 学校教育
- ② a 専門職業人教育 b ライフスタイル c 社会教育
- ③ a 専門職業人教育 b ライフスタイル c 学校教育
- ④ a リカレント教育 b ライフステージ c 社会教育
- ⑤ a リカレント教育 b ライフスタイル c 社会教育

18 次の表は、「教育振興基本計画」（令和5年6月16日 閣議決定）の「教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進」のデジタル化の3段階についてまとめたものである。表の（a）～（e）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 18

	名 称	説 明
第一段階	(a)	(c)
第二段階	(b)	(d)
第三段階	デジタルトランスフォーメーション（DX）	(e)

- ア デジタイゼーション
- イ ICT化
- ウ デジタライゼーション
- エ AI化
- オ 教育データに基づく教育内容の重点化と教育リソースの配分を最適化すること
- カ 学校のICT環境を整備すること
- キ 紙の教材を組み合わせている現状から、デジタル教材のリコメンドを参考に教材の最適な選択を行うことができるようになること
- ク 児童生徒が1人1台端末を使用してAI機器の操作に習熟すること
- ケ 紙のプリントをデジタル化して配信すること

- ① a ウ b ア c ケ d キ e ク
- ② a イ b ア c ケ d キ e オ
- ③ a ア b エ c カ d ケ e オ
- ④ a ア b ウ c カ d ケ e ク
- ⑤ a ウ b ア c ケ d キ e オ

19 次の文章は、「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」の【調査結果の概要】の一部である。文中の(a)～(d)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 19

部活動や学校行事などの様々な活動が再開されたことにより接触機会が増加するとともに、いじめ防止対策推進法におけるいじめの(a)やいじめの積極的な(b)に対する理解が広がったことや、(c)の充実などによる生徒に対する(d)の精緻化、SNS等のネット上のいじめについての積極的な(b)などで、いじめの(b)件数が増加したと考えられる。

- ① a 概念 b 判定 c アンケートや学級指導 d 生活指導
- ② a 定義 b 認知 c アンケートや教育相談 d 見取り
- ③ a 定義 b 判定 c 学級指導や教育相談 d 行動記録
- ④ a 概念 b 認知 c 生徒指導や教育相談 d 生活指導
- ⑤ a 定義 b 判定 c アンケートや生徒指導 d 見取り

20 次の文は、不登校児童生徒の実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校の概要(文部科学省ホームページ)の一部である。文中の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

解答番号は 20

特別の教育課程とは、憲法、教育基本法の理念を踏まえ、学校教育法に定める学校教育の目標の達成に努めつつ、(a)の定めにかかわらず編成される教育課程であること。

特別の教育課程を実施するにあたっては、不登校児童生徒の実態に配慮し、例えば不登校児童生徒の学習状況にあわせた(b)指導や習熟度別指導、個々の児童生徒の実態に即した支援(家庭訪問や保護者への支援等)、(c)外の学習プログラムの積極的な活用など指導上の工夫をすることが望ましいこと。

- ① a 施行規則 b 個別 c 学校
- ② a 学習指導要領 b 少人数 c 課程
- ③ a 施行規則 b 少人数 c 学校
- ④ a 学習指導要領 b 個別 c 課程
- ⑤ a 施行規則 b 個別 c 課程

解答番号	正答	解答番号	正答	解答番号	正答
1	5	21		41	
2	2	22		42	
3	3	23		43	
4	3	24		44	
5	1	25		45	
6	4	26		46	
7	1	27		47	
8	5	28		48	
9	3	29		49	
10	3	30		50	
11	4	31		51	
12	4	32		52	
13	1	33		53	
14	3	34		54	
15	5	35		55	
16	2	36		56	
17	1	37		57	
18	5	38		58	
19	2	39		59	
20	3	40		60	

1問3点×20問 合計60点満点